

公益社団法人日本地震学会平成27年度第2回理事会議事録

1. 日 時 平成27年5月25日(月) 13:00~14:00
2. 場 所 幕張メッセ国際会議場 202室
3. 理事数 15名
4. 出席者 理事14名, 監事3名
 - ・理 事: 今西和俊, 内田直希, 香川敬生, 加藤愛太郎, 加藤照之, 中川和之, 日野亮太, 平松良浩, 古村孝志, 堀川晴央, 望月公廣, 山岡耕春, 山田卓司, 山野 誠
 - ・監 事: 川崎一郎, 武村雅之, 鈴木善和
 - ・事務局: 中西のぶ江

5. 審議事項

議長加藤照之は、本日の理事会の理事出席者が14名であり定足数を満たしているため、理事会が成立することを宣言した。続いて、以下の議案について、逐次審議に入った。

第1号議案 日本地震学会モノグラフ「教育を通じた地震災害軽減の現状と展望」について
香川理事よりモノグラフ第4号の編集状況について説明が行われた。審議の結果、タイトルを「学校・社会教育による地震知識の普及－教育を通じた地震災害軽減の現状と課題－地震の研究者と小・中・高等学校教員との連携－」とし、WEB資料の引用体裁については「地震」に倣うこととした。また、編集中の一部の原稿への対応および発行時期については編集委員会に一任することとした。

第2号議案 社会活動基金の使用について：栗駒山麓ジオパーク推進協議会講演会

中川普及行事担当理事より、大会・企画委員会、災害調査委員会の共同発議として社会活動基金を使用した事業についての説明が行われた。事業内容は、実施担当者の中川普及行事担当理事とし、岩手・宮城内陸地震後、平成20年に地元説明会を行った同地域にて栗駒山麓ジオパーク推進協議会と共催で講演会を企画し講師の派遣を行う。審議の結果、社会活動基金の事業とすることと栗駒山麓ジオパーク推進協議会との共催事業とすることが承認された。事業の進捗状況については中川理事より適宜理事会に報告することとした。

第3号議案 協賛・後援依頼について

議長より、以下2件の資料が回覧され、審議の結果、協賛、後援名義の使用を許可した。

後援：第6回「震災対策技術展」宮城

協賛：第20回アコースティック・エミッション総合コンファレンス

第4号議案 入会承認について

議長から、入会申請者の承認に関する件について諮られ、審議の結果、正会員に申し込みのあった6名（内学生2名）の入会を全会一致で承認した。

6. 報告事項

以下の報告があった。

1. 議長より、正会員2名の退会届が提出されたとの報告があった。
2. 今西常務理事より、中島理事（大会・企画担当）から提出された資料に基づき、秋季大会の特別セッションに一件の応募があり、5月27日の大会・企画委員会にて開催の審査を行うこと、及び2015年地震学夏の学校の概要について報告があった。また、夏の学校世話人については、順次、夏の学校委員として委嘱手続きを行うこととした。そのほか、夏の学校において、海外渡航旅費助成金のうち、研究情報収集・交換のための事業としての支出予定の質問があり、各担当理事間で情報交換、支出調整を行うこととした。
3. 加藤（愛）理事（災害調査担当）より、業務執行報告が行われた。日本地球惑星科学連合2015年大会で企画したネパール地震緊急ポスターセッションに関して、投稿が18件であったことが報告された。
4. 平松理事（地震担当）より、業務執行報告が行われた。5月24日に開催された第1回地震編集委員会について、委員会構成員の確認、編集手順の確認を行ったことが報告された。また、委員より新たに設けた「解説」の種類を増やしてはどうかとの意見があり、投稿規定の改定を含め検討を行うことについて説明が行われた。
5. 内田理事（広報担当）より、業務執行報告が行われた。同日夕刻に開催予定の記者懇談会について案内が行われた。
6. 山田理事（学会情報誌編集担当）より、業務執行報告が行われた。投稿のてびきの変更案が提示され、修正があれば委員会まで連絡してほしい旨が報告された。
7. 山野理事（学校教育担当）より、業務執行報告が行われた。教員免許状更新講習は、仮申込者を含め、現在までの申し込み者が118名となること、教員サマースクールについては近日中に募集を開始する予定であることが報告された。
7. 中川理事（普及行事担当）より、業務執行報告が行われた。3学会からなる子供サマースクール企画委員会について、2017年度も公募制とすること、5月26日に2015年子供サマ

ースクール実行委員会を開催することが報告された。

7. その他（意見交換）

・総会に向けての確認ほか

加藤会長より、総会の報告事項3. その他において、新雑誌およびモノグラフ第3号及び4号について説明を行う予定であることが報告された。そのほか総会の進行について、事業計画の説明の際に新規事業や秋季大会会場等について重点的に説明を行い、関連予算の説明を分かりやすくしたいとの意見がだされ、説明を担当する今西常務理事と望月理事（会計担当）で調整を行うこととした。